

特別展

「自然のこえ命のかたち
—カナダ先住民の生み
だす美」

カナダ文明博物館の巡回展「カナダ先住民」を核として、民博の研究者が調査・収集してきたイヌイットと北西海岸先住民の版画などのアート作品をあわせて展示することにより、自然と生命が一体化する世界観をもつ先住民文化のユニークさとすばらしさを紹介します。

会期 八月二三日(木)～二日(火)
会場 常設展示場内
■関連イベント
「凸凹(decoboco)ワイクシヨップ」大切な人とつながらる継手ペンダントを作ろう」
実施日 八月三〇日(日)
時間 一三時三〇分～一六時
会場 第三セミナー室
参加費 五〇〇円(材料費・保険代)
講師 M.Y. Yokoyama
点字体験&展示資料解説「さわる文化への招待」
—点字を触学、展示で触学—
実施日 八月二日(土)、九月

「点字の考案者ルイ・ブライユ生誕二〇〇年記念」
念：点天展」

企画展

二日(土)
時間 二時～二六時
会場 企画展示場入口
参加費 無料
講師 みんなくミュージアムパートナーズ+全国視覚障害者情報提供施設協会
お問い合わせ 情報企画課情報企画係
電話 〇六六八七八八五三三
(平日九時～一七時)

「みんなく秋の遠足・校外学習」
事前見学&ガイダンスを開催

秋の遠足・校外学習に向けて事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。
実施日 八月二日(金)、二四日(月)、二五日(火)
時間 一四時～一七時(随時対応)

応じます)
会場 第五セミナー室ほか
参加申し込み方法
みんなくホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を明記のうえ、ファックスにてお送りください。
お問い合わせ 広報企画室広報係
電話 〇六六八七八八五三三
(平日九時～一七時)

「みんなくミュージアムパートナーズ企画」
「パタパタをつくるう！」
「からくりおもちゃ編」

夏休みの工作に、からくりおもちゃを作ってみよう！テープを張り合わせるだけで、四つの絵がパタパタと音を立てて変わるおもちゃです。
実施日 八月三日(日)
時間 ①一四時～二二時

◆夏休みワークシヨップ
「手のひらゲルをつくってみよう」

モンゴルの移動式住居「ゲル(天幕)」。中央・北アジア展示でゲルについて学んだら、ペーパークラフトの「ゲル」を自分たちの手でつくってみましょう。
日時 八月八日(土)、九日(日)一〇時
会場 第三セミナー室ほか
定員 各日一五組(事前申込制)
参加費 一組五〇〇円(材料費・保険代)
参加申し込み方法
希望日・参加人数・氏名・住所・電話番号を左記までお知らせください。
なお、小学校四年生以下の方は保護者同伴でご参加ください。
お問い合わせ 財団法人千里文化財団
E-mail: mongolo@senri-f.or.jp
FAX 〇六六八七八八三七一六
電話 〇六六八七七八八九三
平日九時～一七時

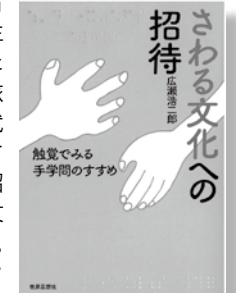
刊行物紹介

■櫻永 真佐夫 著
『ベトナム黒タイの祖先祭祀
家霊簿と系譜認識をめぐる民族誌』
風響社 定価：6,300円(税込)



社会を成形するうえで、文字文化はどのような役割を果たしてきたのか。ベトナム西北地方の水稲耕作民、黒タイを例に、現地調査の成果と、系譜文書など現地文字資料の分析を統合して迫る。

■廣瀬 浩二郎 著
『さわる文化への招待
触覚でみる手学問のすすめ』
世界思想社 定価：1,995円(税込)



中途失明した著者が、見えない人生の中で気づいた“豊かな触生活”。旅行・点字・花見・武道など、さわって「みる」楽しさを紹介し、読者を触文化の旅へと誘う。斬新かつユニークな触学入門書。

■谷本一之・井上紘一 編
『「渡鴉のアーチ」(1903-2002)
ジェサップ北太平洋調査を追試検証する』
(国立民族学博物館調査報告No.82)

■庄司博史 編
『移民とともに変わる地域と国家』
(国立民族学博物館調査報告No.83)

みんなくゼミナール

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13:30～15:00 (13:00開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料

展示場をご覧になる方は、観覧料が必要です。

第375回 8月15日(土)
「音盤に聴く東アジア近代音楽史
—日本コロムビア外地録音資料」
講師 福岡正太(文化資源研究センター准教授)

戦前、日本コロムビア社は、上海、台湾、朝鮮等に向けてレコードを制作販売していました。現在、民博はその原盤を所蔵しています。東アジア近代音楽史をその音溝に刻んだ外地録音資料の概要をご紹介します。



第376回 9月19日(土)
「イヌイット・アートの世界
—極北からのメッセージ」【特別展関連】
講師 岸上伸啓(先端人類科学研究部教授)

秋の特別展では、イヌイットの版画を展示します。イヌイットが制作した版画や彫刻品を事例としてイヌイット・アートの誕生から今日にいたるまでの歴史的展開についてお話しします。



イヌイットの版画「偉大なふくろう」 Pitaloosie作 1981年、カナダ・(旧)北西準州・ケープドースセット(国立民族学博物館蔵)

友の会

友の会講演会 9月5日(土)

シリーズ「先住民のいま」③
共生の道をさぐる「先住民」
—オーストラリアにて
講師 松山利夫(民族文化研究部教授)
時間●14:00～15:30(13:30開場)
会場●国立民族学博物館
第5セミナー室
定員●96名(当日先着順、会員証をご提示ください)

東京講演会 9月13日(日)

海外所蔵のアイヌ民族資料
—先住民博物館をめぐって
講師 小谷凱宣(名古屋大学名誉教授)
先住民をめぐる世界の動向をうけて、国立のアイヌ民族博物館設立が話題にのぼっています。しかし、国内の資料だけでは、アイヌ文化の時代差や地域差を具体的に展示することは難しいのです。そこには近代日本の先住民政策や研究史などがからんでいます。国立アメリカ・インディアン博物館を例にあげて考えます。
時間●14:00～15:30(13:30開場)
会場●JICA地球ひろば
セミナールーム202
定員●40名(当日先着順、会員証をご提示ください)

東京講演会 9月26日(土)

特別展「自然のこえ 命のかたち」関連
カナダ先住民のいま—イヌイットと北西海岸先住民の世界
講師 岸上伸啓(先端人類科学研究部教授)
カナダの約117万人の先住民の大半は出身地を離れ、伝統的な生活とは異なる都市生活を営んでいます。ホームランドと都市のそれぞれの生活の中で、先住民としてのアイデンティティを模索する彼らの様子を、アート作品に着目して紹介します。
時間●14:00～15:30(13:30開場)
会場●JICA地球ひろば
セミナールーム302
定員●60名(当日先着順、会員証をご提示ください)

国立民族学博物館 友の会
電話 06-6877-8893
ファックス 06-6878-3716
電話でのお問い合わせは
月曜～金曜日9時から17時まで
をお願いします。
http://www.senri-f.or.jp/
E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

ミュージアム・ショップ

フェア・トレード・フェア

今月、ショップでは、パレスチナのNPOによる刺繍製品や、東ティモール産の香り高いコーヒード、カンボジア



パレスチナの伝統刺繍を施した通帳入れ(2,400円)・眼鏡ケース(2,550円)・ランチョンバッグ(5,700円)・東ティモール産のコーヒード(粉・豆)(各1,050円)

のシルク製品などのフェア・トレード・グッズを紹介しています。なかでも、美しいパレスチナ刺繍のバッグや小物は今回ショップに初登場。新しくなった西アジア展示の花嫁衣装にも見られるパレスチナの伝統刺繍。そんな母から娘へ伝えられる美しい技を、ぜひ手に取ってご覧ください。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ
電話 06-6876-3112
ファックス 06-6876-0875
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/
E-mail shop@senri-f.or.jp